

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
在宅保育	2	後期	講義	2	下園 美由紀

○授業の到達目標

現代の多様な家庭の保育ニーズに対応する機能をもち、子育て支援施策として重視されてきている。本講義では、ベビーシッター専門職の内容を理解し、専門職としての資格取得を目指す。また、保育の知識や保育マインドの大切さについて伝え、乳幼児や保護者により良い支援ができるようになる。

○授業の概要

この授業では、養成校での保育士資格を前提としてベビーシッター資格の取得を目標とし、在宅保育の考え方を深め、実践力の獲得を目指すものである。

○授業計画

第1回 オリエンテーション（居宅訪問型保育について社会的背景と制度説明）

【事前学修】教科書を読み、在宅保育という名称を意識する。

【事後学修】講義内容をノートにまとめる。

第2回 居宅訪問型保育の実際

【事前学修】教科書課題に取り組む。

【事後学修】保育の映像を視聴し、集団保育との違いなどに気づく。

第3回 居宅訪問型保育の保育内容

【事前学修】教科書を読み、演習の準備をする。

【事後学修】居宅における個別保育を学ぶ。

第4回 保育技術実践1（乳幼児期の室内遊びと関わりと注意点）

【事前学修】幼児の遊び（室内遊びの種類と遊びの方法）

【事後学修】室内玩具を用い、グループで遊びの紹介をする。

第5回 保育技術実践2（乳幼児期の戸外遊びと関わりと注意点）

【事前学修】幼児の遊び（戸外遊びの種類と安全対策）

【事後学修】戸外遊びの方法と安全対策をグループ討議し、個人ノートにまとめる。

第6回 保育技術実践3（ハンカチ・お手玉・あやとり遊び）

【事前学修】手遊び・歌遊び・伝承遊び・製作遊びをグループで紹介しあって学ぶ。

【事後学修】それぞれの遊びをグループで実践する。

第7回 保育技術実践4（生活のお世話）

【事前学修】おむつ交換・着替え時の関わり方を予習する。

【事後学修】模擬学習に取り組む。

第8回 保育技術実践5（健康面のお世話）

【事前学修】睡眠時の方法及び関わりと安全について予習する。

【事後学修】入眠時と起床時の声掛けと関わりを実践してみる。

第9回 小児保健（衛生管理・病時対応）

【事前学修】幼児に関する疾病について調査する。

【事後学修】感染症などの病気の対応について学ぶ。

第10回 小児保健（怪我や幼児同士のトラブルに関する対応）

【事前学修】よくある怪我やトラブルにおける事故などを調査する。

【事後学修】処置や初期対応を実践する。（DVD視聴・グループ学習）

第11回 小児保健（食事・食物アレルギー対応）

【事前学修】ミルク成分と調乳、食物アレルギーについて課題に取り組む。

【事後学修】アレルギー対応のDVDを視聴後、学びをまとめる。

第12回 保護者対応（伝え方・話し方・相談対応）

【事前学修】教科書を読み課題に取り組む。

【事後学修】エピソード演習を実践し、グループ討議を行う。

第13回 保護者対応（ベビーシッターの態度）

【事前学修】資料を読み、課題をまとめる。

【事後学修】講義内容をノートにまとめる。

第14回 障がい児対応

【事前学修】症状に合わせた対応について予習する。

【事後学修】家庭内ケアのDVDを視聴し、感想をまとめる。

第15回 まとめ（在宅保育業務の復習）

【事前学修】在宅保育業務の内容と対応を振り返る。

【事後学修】試験対策及びレポートを作成する。

○テキスト

「家庭訪問保育の理論と実際 第2版」公益社団法人 全国保育サービス協会監修、中央出版

○参考書・参考資料等

「在宅保育の考え方と実践ⅠⅡ」社会福祉法人ベビーシッター協会

「在宅保育論」巷野悟朗 監修. 全国ベビーシッター協会

○学生に対する評価

学習授業への関心・態度 (20%) 課題への取り組み (30%) 定期試験 (50%)